

入力形式 : command [-option] [input] [output]

ファイル関連

ファイル file の中身を表示 cat file
 ファイルの時刻更新及び空のファイルを作成 touch filename
 (ファイルがあれば現在の時刻に更新無ければ空のファイルを作成)
 ファイル file の行数, 単語数, バイト数を表示 wc file[オプション]
 行数 -l
 単語数 -w
 バイト数 -c
 ファイル file の中身先頭部分を表示 head file
 ファイル file の中身終了部分を表示 tail file
 ファイル file の中身をターミナルの範囲で表示 more file
 (リターンで1行アップ。q で終了。)(スペースで1頁アップ。)
 ファイル file から文字 word を検索 grep word file
 ファイル file をソート sort file[オプション]
 逆順 -r
 大文字小文字区別なし -f
 数字として -n
 同一内容スキップ -u
 nn 番目の項目で +nn
 ファイル file1 を file2 としてコピー cp file1 file2
 ファイル file1 を file2 にリネーム mv file1 file2
 ファイル file をディレクトリ dir に移動 mv file dir
 ファイル file を削除 rm file
 ファイルのパーミッション(権限)を変更 chmod 777 file
 所有者 u+x グループ g+x 他人 o+x
 (fileに 所有者 グループ 他人 にr+w+x形式でパーミッションを設定する)
 ファイルの所有者を変更 chown user_name file
 ファイルの所有者グループを変更 chgrp group_name file
 ファイルにリンクを設定する ln -s file_org file_new
 ファイルのアーカイブ(作成+圧縮) tar cvfz tmp.tar.gz ./tmp
 (./tmp ディレクトリを tmp.tar.gz にまとめ圧縮する)
 ファイルのアーカイブ(展開+解凍) tar xvfz tmp.tar.gz
 (/tmp ディレクトリを tmp.tar.gz にまとめ展開する)
 ファイルの圧縮(gzip) gzip -9 pepo ⇒pepo.gz
 ファイルの解凍(gzip) gzip -d pepo.gz ⇒pepo
 ファイルの圧縮(bzip2) bzip2 -9 pepo ⇒pepo.bz2
 ファイルの解凍(bzip2) bzip2 -d pepo.bz2 ⇒pepo
 ファイルの差分出力(パッチファイルの作成) diff -u OLD_FILE NEW_FILE > PATCH_FILE
 ファイルのバックアップ ls|cpio -o >/dev/mt
 (標準入力からファイルのパスを入力し標準出力する この場合 mt < ^)
 (mt からリストア) cpio -i </dev/mt
 cpioよりファイルを展開 cpio -idmv <pepolinux_rpm.cpio
 ファイルの検索 find / -name tmp -print
 (/ ディレクトリより tmp ファイルを探し見つかったら表示)
 ファイルの変換とコピーを行う dd if=/boot/vmlinuz of=/dev/fd0
 (/bootディレクトリよりkernelをfdにコピー)

ディレクトリ関連

ディレクトリのツリー表示 tree -p
 カレント・ディレクトリの絶対パスの表示 pwd
 ホーム・ディレクトリに移動 cd 又 cd ~
 ディレクトリ dir に移動 cd dir
 一つ上のディレクトリへ移動 cd ../
 二つ上のディレクトリへ移動 cd ../../
 ディレクトリ dir を作成 mkdir dir
 空ディレクトリ dir の削除 rmdir dir
 ディレクトリ dir の削除 rm -r dir
 ディレクトリ dir1 を dir2 にリネーム mv dir1 dir2(dir2 が存在しないこと)
 ディレクトリ dir1 を dir2 の下へ移動 mv dir1 dir2(dir2 が存在すること)

```

カレント・ディレクトリ内のファイルリスト      ls
それに属性も表示させる                        echo *
lrwxrwxrwx 1 root root 7 Aug 16 02:45 /bin/telnet -> busybox
↑:-普通 d:ディレクトリ l:シボリックリンク

```

```

環境, ヘルプ関連
コマンド command のパスを表示                which command
ファイル command の関連情報表示             whereis command
コマンド command の詳細情報を表示           type command
コマンド command の使用時間を表示           time command
コマンド command のマニュアルを表示         man command
(リターンで1行アップ。q で終了。)(↑でアップ ↓でダウン)(スペースで1頁アップ。)
文字 word を含むマニュアル                 man command word
環境変数一覧                                 printenv
環境変数 xxx の確認                         printenv xxx
echo $xxx

```

```

その他
システム名                                   uname
ドメイン検索                                 nslookup 169.254.11.1
ログイン者名一覧                             who
ログイン者全員にメッセージ                 wall shutdown now!
文字 word を出力                             echo word
日付けを得る                                 date
当月のカレンダーを表示                       cal
yyyy 年のカレンダー                           cal yyyy
スクリプト script をシェルスで実行          sh script
スクリプト script を Perl で実行            perl script
コンソールのログを採る                       script log
ソース xxx.c を C でコンパイル              cc xxx.c
それにオプション"出力ファイル:xxx.out"を付ける
ソース xxx.c を C++ でコンパイル           c++ xxx.c
他ホストへリモートログイン                 telnet 169.254.11.1
他ホストへリモートログインポート番号指定   telnet 169.254.11.1 80
cr|+] =>quitでtelnetを抜ける事が出来る。   telnet>quit
ftpサーバーへの接続                         ftp 169.254.11.1
この後ユーザー名パスワードに答える
ファイルのゲット                             ftp>get epicon-3.6.tar.gz
ftpの終了                                    ftp>quit

```

```

テキストファイルの編集                       vi filename
filenameを入力しないで起動した場合はHelpが画面に表示するので指示に従う(:q<Enter>で終了)
(各矢印キーにてカーソル移動、i で編集開始 esc で編集解除)
( ZZ でセーブ、:q! でセーブ中止)
( x 又は del で編集時と閲覧時の文字の削除 編集時のbackspace で文字の削除)
( dd 行削除 yy バッファへコピー p バッファより貼り付け)

```

```

その他shellコマンド
コマンド別名定義                             alias cp='cp -i'
コマンド別名定義解除                         unalias cp
ファイルの表示                                 less file
fileの表示を↑キーで閲覧する、qで終了
コマンドの標準出力を次のコマンドの標準入力 (パイプという) | をバッチカルライン又はパイプ記号と読む
ls -l | less
コマンドの連続処理                           ls ; ps ax
出力のリダイレクト                           echo -n "kore wa tmp" >tmp
出力の追加リダイレクト                       echo -n "kore wa tmp" >>tmp
入力のリダイレクト                           cat < tmp
入力の終端を通知する(ヒヤドキュメントで使用) cat > tmp.c <<END
テキスト入力
ENDを入力する事で終了
コマンドをバックグラウンドで実行する       sor tmp > kekka &
バックグラウンドコマンドの表示             jobs

```

```

ジョブをバックグラウンドで実行へ切り替え      bg 1    (jobsコマンドで表示するジョブNO)
ジョブをフォアグラウンドで実行へ切り替え      fg 1    (jobsコマンドで表示するジョブNO)
日本語表示モードを英語モードへ                LANG=us

システム管理他 (root権限でないとは実行出来ないコマンドもあり)
システム負荷の上位プロセスとシステムの状態確認 top
相手ホストとの通信確認エコーテスト           ping 169.254.11.1
ネットワークの設定確認                       ifconfig
ネットワークの設定                           ifconfig eth0 169.254.11.1 netmask 255.255.255.0 broadcast 169.254.11.255
2つ目のIP設定                                ifconfig eth0:1 10.1.100.1 netmask 255.255.255.0 broadcast 10.1.100.255
IP経路(route)の設定確認                      route
IP経路(route)の設定                          route add -net 169.254.11.0 netmask 255.255.255.0 eth0 metric 1
IP経路(route)の削除                          route del -net 169.254.11.0 netmask 255.255.255.0 eth0
IP経路(route)の設定(デフォルト)              route add default gw 169.254.11.1 netmask 0.0.0.0 metric 1
経路情報表示 (ICMPを使用, DNS参照無し)       ip route add 0.0.0.0/0 via 169.254.11.1
経路情報表示 (UDPを使用, DNS参照無し, TTLを10迄) traceroute -n -l 169.254.11.1
                                              traceroute -n -m 10 169.254.11.1

ethインターフェース操作                       ip link set eth0 down ; ip link set eth0 up
MACアドレスの変更(インタフェースdown要)      ip link set eth0 address 00:01:02:03:04:05
ネットワークの稼動状況確認(ポートno変換無し) netstat -an
ポートスキャン(TCP)                          nmap -n -sT 169.254.11.1
ポートスキャン(UDP)                          nmap -n -sU 169.254.11.1
ポートスキャンTCP(FINパケット)              nmap -n -sF 169.254.11.1
指定ポートに5回(FIN)パケット送出            hping -n -c 5 -p 80 -F 169.254.11.1
指定ポートに5回(SYN)パケット送出            hping -n -c 5 -p 80 -S 169.254.11.1
指定ポートにデータ送出(UDP 53番)            netcat -n -u 169.254.11.1 53 ←この後データ入力Enter

システムで走ってるプロセスの表示            ps ax
指定(PID)プロセスの停止(signalの送出)       kill -9 PID
ユーザーの追加                               useradd user_name -g group_name
ユーザーの削除                               userdel -r user_name
グループの追加                               groupadd group_name
グループの削除                               groupdel group_name
ユーザーのパスワード変更                   passwd user_name
自分のパスワード変更                         passwd
(以後のメッセージに従いパスワードを入力)
ユーザーの切替(USR_ID)                     su USR_ID
サーバーサービスの設定確認                 chkconfig --list
サーバーサービスの登録(↑↓キーで該当のサービスにスペースキーで*を付ける)
ntsysv
サーバーサービスの起動停止他               service httpd (start|stop|restart|reload|etc)
サーバーサービスを有効にする                 service xinetd reload
ログアウト                                   exit
システムの停止                               halt
システムの再起動                             reboot
電源切断                                     poweroff
ファイルのマウント(win95形式ファイル)        mount -t vfat /dev/fd0 /mnt/floppy
(Win2k ntfs形式ファイル)                   mount -t ntfs -o iocharset=euc-jp,ro /dev/hda1 /mnt/ntfs
(unix nfs形式ファイル)                     mount -t nfs 10.1.1.100:/usr/src/mnt/nfs
(Win2k samba形式ファイル)                  mount -t smbfs -o username=everybody,password=none //169.254.11.1/dir /mnt/smb
(ファイルをマウントしたら必ずアンマウントが必要)
ファイルのマウント(CDRROM)                  mount /dev/cdrom 又は /mnt/cdrom
ファイルのアンマウント                       umount /dev/fd0 又は umount /mnt/floppy
ファイルのマウント状況確認                 df

以下はDISKの初期化を含むコマンドです。(非常に危険! -->理解出来なければ絶対に操作しない事)
DISKのパーティション作成関係                parted /dev/hda
現在のパーティション情報表示                (parted) print
パーティションの削除(1番目)                 (parted) rm 1
パーティションの作成(単位Mbyte)             (parted) mkpart primary スタート エンド
No1パーティションにブートフラグセット      (parted) set 1 boot on
ファイルシステム構築他
ntfs(-Q:ゼロライト&チェックなし)           mkntfs -Q -s 512 /dev/hda1

```


/ab|cd/ ⇒ ab又はcdへの文字列に適合

/(abc)+d/ ⇒ abcd又はabcabcd又はabcabcacbabcdの文字列に適合